

ダンス1

二次元のスクリーンから 次元の身体が立ち上がる

映像で観るダンスの現在

関西を拠点に活躍する現代ダンスのビデオ作品上映と
出演者らによるトークを2日間にわたってお届けします

DANCE

コーディネーター：上念省三(じょうねんしょうぞう)

20日

- ・10:30 お話：ダンスと美術1 上念省三
- ・10:45 ● 近畿大学舞踊専攻、天理大学創作ダンス部作品 お話：塚本順子(天理大学)
- ・12:00 ● サイトウマコト他「陶製の身体」
- ・13:10 ● ヤザキタケシ他「Weight less Days」(2008年サンパウロ・ビエンナーレ上演作品) お話：ヤザキタケシ
- ・14:40 ● サイトウマコト振付バレエ作品 お話：サイトウマコト
- ・15:30 ● 神戸女学院大学舞踊コース学生作品 + ● 島崎徹 振付作品 お話：島崎徹

21日

- ・10:30 お話：ダンスと美術2 上念省三
- ・10:45 ● 森美香代「ASITA」
- ・11:30 **講演** 樋口ヒロユキ「身体と美術」
- ・12:50 ● 関典子「GIACOMETTI MANIA」(2006年当館ジャコモッティ展関連事業) お話：関典子(H20年度 兵庫県芸術奨励賞受賞)
- ・14:10 ● 『ダンスの時間』上演作品から
- ・15:10 ● セレノグラフィカ「それをすると」 お話：隅地菜歩
- ・16:30 ● Monochrome Circus「旅の道連れ」 お話：小寺麻子

●はビデオ映像作品の上映です。ビデオ作品の内容、出演者についての詳細はこのチラシ裏面をご覧ください。

2008年12月20、21日(土、日) 10:30~17:30(開場 10:10)

兵庫県立美術館 ギャラリー棟 ミュージアムホール 無料

主 催 / 兵庫県立美術館アートフェスティバル実行委員会
 後 援 / 兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸新聞社、サンテレビジョン、ラジオ関西、Kiss FM
 協 力 / ダンスの時間プロジェクト
 ダンス写真 / ダンスの時間プロジェクト提供 (Monochrome Circus「朱鷺に寄せる哀歌」坂本公成+小寺麻子)

《 タンツ ダンス1・プログラム 》

12月20日(土)

10:30 お話 ダンスと美術1 (上念省三)

じょうねんしょうぞう : 1959年、兵庫県生まれ、演劇・ダンス評論家。ダンスの時間プロジェクト代表、京都芸術センター運営委員会オプザーバー。京都新聞、明倫art、宝塚プラス等に舞台評を寄稿。 <http://homepage3.nifty.com/kansai-dnp/>

● 10:45 近畿大学 舞台芸術専攻学生作品、天理大学 創作ダンス部作品 お話：塚本順子

近畿大学文芸学部舞台芸術専攻 : 創立20年の実績に基づき、内外で活躍する舞台人を多数輩出。在学中から学内外の様々な場で作品を発表指導 = 碓井節子

天理大学創作ダンス部 : '69年発足以後意欲的に活動。全日本高校・大学ダンスフェスティバル審査員賞、アーティストック・ムーブメント・イン・トヤマ富山県知事賞等受賞。指導 = 塚本順子

● 12:00 サイトウマコト他「陶製の身体」

丹波焼の陶芸作品(大西文博)からスタート。映像・音楽(赤松正行+IAMAS-DSP/MI RAGE チーム)とダンサー(サイトウマコト、森美香代、ヤザキタケシ、安川晶子)が即興的にコラボレートする、ミクストメディア作品。2007年1月18日兵庫県立芸術文化センター小ホール。

● 13:10 ヤザキタケシ他「Weightless Days」お話：ヤザキタケシ

ダンス(ヤザキタケシ、松本芽紅見)、グラフィックアート(Angela Detanico & Rafaela Lain、ブラジル)、サウンドアート(Dennis McNulty、アイルランド)による、白と黒を基調としたミクストメディア作品。上演:2007年9月1日、black chamber(NAMURA ART MEETING vol.02、大阪)。2008年11月には、第28回サンパウロ・ビエンナーレ(ブラジル)でも上演。初演は2006年2月「ONE dot ZERO」フェスティバル(パリ)。

ヤザキタケシ : アルヴィン・エイリーNYシティセンター公演出演等の経験を経て、'97年アローダンスコミュニケーションを結成、'98年パニョレ国際振付賞ノミネート。国内外で多くの招待公演、ワークショップを行っている。

● 14:40 サイトウマコト振付バレエ作品 お話：サイトウマコト

サイトウマコト : アングラ演劇を経てダンスを始め、自らコンテンポラリー・ダンサーとして活躍する傍ら、2000年ローザンヌバレエコンクールスカラシップ受賞者3名のコンテンポラリー部門を指導。多くのバレエ団やバレエダンサーに作品を提供するほか、「不思議の国のアリス」に想を得た長編バレエ作品「それからのアリス」をシアタードラマシティ、福岡市民会館等で上演。斉藤 DANCE 工房代表。

● 15:30 神戸女学院大学舞踊コース学生作品 + 島崎徹振付作品 お話：島崎徹

神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻 : 2006年度開設。島崎徹を中心に、海外から招聘する講師が少人数体制で指導にあっている。2007年の学内での第1回公演から絶賛を受けている。映像は、2007年12月6日、兵庫県立芸術文化センター中ホールでの第2回公演から。しまざきとおる : カナダでバレエを学ぶ。ポーランド国立ボズナン・バレエに振付けた作品がシーズンのオープニングを飾り、各地で上演される。その他、'98年舞踊批評家協会新人賞、'99年ローザンヌ国際バレエコンクール審査員選出など、内外で高い評価を得ている。2006年から神戸女学院大学教授。

12月21日(日)

10:30 お話 ダンスと美術2 (上念省三)

● 10:45 森美香代「ASITA」

もりみかよ : 6歳から西野バレエ団で踊り始め、マーク・ハイム率いるリスボンダンスカンパニーに所属。'95年からソロ活動を開始。「ASITA」は9年ぶりの単独公演で、2008年4月12・13日、AI・HALL アイホール(伊丹)で上演。結婚・出産という生の層を経た内面から汲み上げられた根源につながる動きが好評を博した。「自由に気持ちよく」踊れるための、心と身体磨きのワークショップ、クラスも展開している。

11:30 講演：樋口ヒロユキ「身体と美術」

ひぐちひろゆき : '67年、福岡県生まれ、美術評論家。球体関節人形から建築まで、アートを幅広く紹介。著書に『死想の血統 - ゴシック・ロリータの系譜学』(冬弓社)。「AERA」「美術手帖」「週刊金曜日」等に寄稿。

● 12:50 関典子「GIACOMETTI MANIA」 お話：関典子

せきのりこ : 平成20年度 兵庫県芸術奨励賞受賞。宝塚市出身。H・アール・カオス、イシグロダンスシアターで活動の後、ソロ活動。美術・音楽・写真・殺陣など他ジャンルとのコラボレーションにも意欲的に取り組んでいる。神戸大学発達科学部専任講師。この作品は、2006年9月3日、兵庫県立美術館・企画展示室前階段で、アルベルト・ジャコメッティ展関連事業として上演されたもの。空間を生かした危うい繊細さと禁欲的なエロティシズムが、好評を博した。

● 14:10 「ダンスの時間」上演作品から

2002年から大阪・阿倍野のロクソドンタブラックという小劇場で続けられている「ダンスの時間」から、2008年サマーフェスティバル公演を中心に。撮影は羽衣国際大学放送芸術文化科学学生。次回「ダンスの時間」は、1月14日、1月31日に開催。隅地、阿比留、斉藤、関、近畿大学学生が出演。

● 15:10 セレノグラフィカ「それをすると」 お話：隅地菜歩

セレノグラフィカ : 隅地菜歩、阿比留修一の二人によるユニット。'97年結成。映像は、今年11月初旬、オーストラリア、パースのARTRAGE Festival 2008 "Dyuet to"で上演されたもの。初演は2004年。抜粋改訂版により、隅地がトヨタコレオグラフィアワード2006「次代を担う振付家賞」を受賞。食卓という日常性から逸脱する不安の増殖と、どことなくユーモラスで関節を外したような動きとのミスマッチが、好評を博した。阿比留修一は、平成8年度大阪府芸術劇場奨励新人に選出。

● 16:30 Monochrome Circus「旅の道連れ」 お話：小寺麻子

Monochrome Circus を主宰する坂本公成が、十数名のダンサーや役者と、舞台を一周する間に様々ななかかわりを繰り広げる、ロード・ムービー的な作品。コンタクト・インプロヴィゼーションの実践・普及や「京都の暑い夏」の実行を通じて、ダンスとコミュニケーションを本質的に考察してきた坂本の集大成的な試み。2007年3月滋賀会館で初演。今回の映像は、公演のドキュメントの特別版。坂本は、平成19年度京都市芸術新人賞受賞。12月25~28日、アトリエ劇研(京都)で「掌編ダンス集」を上演。